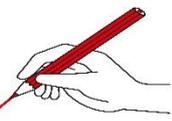


Move Mountains

5年生通信

7月8日42号



○人生は下りエスカレーターである

長野県松本市。とある病院は、10数億円の赤字を抱え、経営悪化に頭を悩ませていました。

「病院が潰れば、この地方の医療は壊滅する」

分かってはいても、改革は遅々として進みませんでした。

東京の大学病院で勤めていた相澤孝夫さんは、実家の病院を立て直すべく、院長として帰るのです。

見事に立て直したことは、大きく報じられ、ドキュメンタリーやドラマも制作されました。その中で、院長が繰り返し言っていた言葉が

「人生は下りエスカレーター」

です。

「現状維持はありません。立ち止まったら、下っていくんです。現状維持するためには、少なくとも下がるのに逆らって歩き続けなければなりません」

ということです。



とある子が、漢字テストで急激に点数を伸ばしています。「なぜ点数を取ることができているのか」「なぜ点数が伸びないのか」を分析する必要があります。

がむしゃらに走り続けても、疲れるだけですし、無駄な時間を使いかねません。

その子は一画、二画足りないミスが多くありました。だから、「書き順を言いながら覚えるといいよ」とアドバイスしました。これで画数が足りないことによるミスはなくなるはずです。

さて、漢字は一生懸命に覚えても次から次へと忘れていきます。まさに下りエスカレーター。覚えたことを維持し続けるためには、上り続けなければなりません。

漢字に限らず、人生とはそういうものです。上り続けましょう。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

